

令和 6 年度 学校評価書 ( 計画段階 )

福岡県立 伝習館 高等学校

68

<p><b>スクール・ミッション</b> (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>郷土を慈しむ心を持ち、国際社会や地域社会の中で自立的に判断し、行動できる人材を育成する学校 ～藩学としての創立以来根づく知・徳・体の調和を重視する「三稜精神」を体現し、多角的な視点から課題解決に取り組み、主体的に社会貢献を果たす人材を育成する～</p>	
<p><b>スクール・ポリシー</b> (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文武両道に励み、健やかで逞しい知・徳・体の育成</li> <li>・高い志を持ち、目標を持って主体的に学ぶことによる、確かな学力の養成</li> <li>・将来、社会に貢献していくための資質・能力と、誠実で思いやりに溢れる豊かな人間性の涵養</li> <li>・5つの資質・能力(5C) ①批判的思考力(Critical thinking) ②コミュニケーション力(Communication) ③協働力(Collaboration) ④創造性(Creativity) ⑤主張する力(Confident and assertive)の育成</li> </ul>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の主体的な学びを引き出す授業実践により、難関大学を含む国公立大学や私立大学への入学を可能とするカリキュラムの編成</li> <li>・「総合的な探究の時間」において、STEAM教育を推進し、教科の枠を超えて論理的思考力や、探究・表現能力を身に付け、社会課題を自ら解決しようとする態度の育成</li> <li>・生徒自らが学校行事やホームルーム活動を企画・運営することにより、達成感と絆を共有する体験活動を推進</li> </ul>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文武両道に自己実現を見出そうとしている人</li> <li>・基礎学力を身に付け、さらに伸ばしたい人</li> <li>・主体的に諸活動に参加し、自己を成長させようとする意欲のある人</li> <li>・社会に貢献する意欲が強く、次世代のリーダーを目指す人</li> </ul>

<p>学校運営計画(4月)</p>			
<p>学校運営方針</p>			<p>評価 (総合)</p>
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>年度重点目標</p>	<p>具体的目標</p>	
<p>昨年度の創立200周年記念式典を始めとする諸行事は、本校の歴史と伝統に対する誇りや郷土を慕う心を喚起するのに十分なものであったが、生徒の自立的、主体的な学びを促すための指導体制には課題が残った。本年度は、教育テーマ 「Next100 ～次の100年に向けて～『主張せよ！伝習生』」を掲げ、「三稜精神」をさらに高いレベルで体現することを目指す。</p>	<p>1 自立した学習者づくり</p>	<p>育成する資質・能力(5C)を明示、共有し、教員と生徒が一体となり教育活動を推進することによって、学校に依存することなく主体的な学びを行為として行える人材を育成する。 教科学習、部活動、総合的な探究の時間(STEAM教育)、学校行事等において育成する資質・能力(5C)の視点と機会を設ける。</p>	
	<p>2 生徒指導の強化</p>	<p>道徳心(人としての在りよう)を基盤に、生徒に規律を順守させ、主体性を発揮させる場を設ける。</p>	
	<p>3 3つの場(学びの場、居場所、 教育環境)づくりの継続</p>	<p>教育活動において3つの場づくりを組織的・系統的に設け、生徒の「輝く場」及び学校生活における「希望」をもたせる。 「学びの場」においては、生徒の自立学習に重きを置き、自らの課題克服を図る機会(時間)を確保する。「気づく力」や「読み取る力」を育成する機会を設ける。</p>	
	<p>4 教職員間の連携強化</p>	<p>行事等のスケジュール管理を強化し、会議等を適切に実施し、情報や課題の共有を図る。</p>	

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
学習指導(教務課)	主体的・対話的で深い学びを実現できるよう、授業改善を行う。	考査後や学期末に、教師が教育活動を振り返り、その後の指導に繋げられるようにする。	授業アンケート 学校教育活動調査	
		授業アンケートを改良し、授業改善のポイントをより明確にできるようにする。		
		生徒の学習面における躓きをいち早く見つけ、教科と連携し対応する。		
	生徒の学力向上のため、ICT機器の更なる活用を促進する。	Chromebookを有効に活用できるよう、ルールを見直し改善する。	学校教育活動調査	
		スタディサプリ導入にあたり、学年と連携し、基本スタイルを確立する。		
		リアテンドットの活用を促し、考査の分析結果をその後の指導に活せるようにする。		
	伝習館の特色化ある教育活動を明確化する。	自立した学習者の育成に繋がる新教育課程を編成する。	学校教育活動調査 志願倍率等入試結果	
		本校の求める人材に本校を志願してもらえるように、入学者選抜の在り方を検討する。 総合的な探究の時間の深化に向けて、学年部と連携する。		
	生徒指導	品位ある人格や将来において社会的に自己実現できる資質を養う。	規則の遵守、礼節の体得について継続的な指導を通して、規範意識とマナーを身に付けさせる。	
交通安全や防犯に対する意識を高め、校外において安心・安全な生活を送ることができるように努める。				
思いやりの心を育て、良好な人間関係を築いていくなかで、いじめのない学校づくりを目指す。				
学校行事を通じて、豊かな人間関係を培うとともに、愛校心を高揚する。		生徒会を中心に生徒ひとりひとりのリーダー性を育成する。	学校教育活動調査	
		有限な時間と場所を効果的に活用して生徒に達成感を持たせる。		
		学校行事の成功と活気ある学校づくりを目指す。		
生徒会活動、部活動を通じて、自立の精神を育成する。		生徒会を中心に集会を活性化させ、主体的生徒の育成を図る。	学校教育活動調査	
		学校生活における委員会活動において、積極的な取り組みを実践する。		
		限られた環境の中で部活動を通して質・競技力・文化力向上とともに、学習との両立を目指す。		
進路指導	高い志に向き合い、挑戦する心を育成する。	よのなか講座を通して、職業観を育成し、高い目標を目指す。	各講座等終了後のアンケート実施 外部模試受検者数	
		進路講演会や大学出張講座を通して、国公立大学合格率向上を目指す。		
		外部模試及び外部検定に挑戦させ、更なる学力の伸長を図る。		
	基礎学力を定着させ、思考力を伸ばし、第一志望進路の実現を目指す。	育成する力に応じた講座制課外・土曜セミナーを実施し、主体的な学習支援を行う。	課外授業・セミナー受講者数 「学校教育活動調査」(生徒)	
		進路に関する探究活動により自己適性を知り、早期に自己進路を具体化させる。 スタディーサプリやハイスクールオンラインからの情報収集及び情報共有による的確な進路指導を行う。		
	最新の情報、本校の取り組みや成果を地域・保護者へ発信する。	進路の手引きや進路ナビを発行し、「選ばれる学校」への広報活動とする。	学校教育活動調査	
		最新の進路情報や入試問題などの情報共有に努め、教師や生徒相互に有効活用する。 地域、保護者、生徒のニーズに応じた進路情報を定期的に発信する。		

様式3

広報	本校の教育活動の様子や在校生の様子を具体的に発信することで本校の魅力を伝える。	ホームページの「ニュース」「お知らせ」の更新等の充実によりPRにつなげる。 学校案内パンフレットをより充実したものとし、効果的な広報活動に活用する。 SNS(Instagram等)を積極的に活用した広報活動を行う。	ホームページ閲覧数 Instagramのフォロワー数 学校教育活動調査	
	オープンスクールや各種説明会で、本校の教育活動への理解を深めてもらう。	本校の最大の魅力である「在校生」の姿を通して、雰囲気や魅力といった伝習館のすばらしさを伝える。 ミニオープンスクールの開催を増やし、伝習館の「生」の雰囲気を中学生に実際に体験してもらう機会とする。 オープンスクール・ミニオープンスクールを実施することで、本校の教育、社会的存在意義や役割を見直し、それを受験生にしっかりと伝えていく。	オープンスクール参加者数 オープンスクール参加者アンケート	
	中学校や塾との信頼関係を深めるための定期的な中学校訪問や塾訪問を計画し、全職員への情報の共有化を図る。	中学校・塾対象説明会を開催し、本校の特色を伝えると同時に本校への要望や評価を探り教育活動や生徒募集に活かす。 時期に応じた内容の定期的訪問を提案し、中学校や塾との信頼関係を深め、情報収集を図る。 他校の広報活動や志望者動向についての情報を収集し、本校の職員への情報共有を行う。	志願倍率(推薦入試、一般入試)等入試結果	
庶務・研修	行事の円滑な運営と調整を行う。	行事の計画を早めに行い、各分掌と調整を行い、実施後の反省を次年度に活かせるようにする。 父母教師会と連携をし、委員や職員が無理なく活動ができるようにする。 行事での責任者会議、係会議を活用し、円滑な運営を図る。	学校教育活動調査	
	読書センター、学習センター、情報センターとしての図書館機能の充実を図り、生徒の利用向上を図る。	「朝の読書」の推進、「図書館便り・新着図書紹介」などの発行を行い、生徒の読書意欲を喚起する。 定期的に通読を行い、授業や学校行事との関わりを意識した展示・取り組みを行う。 委員会の活動(三稜祭の発表・読書会・朝の読書)を活性化させる。	学校教育活動調査 図書室の利用者数 図書貸出冊数	
	職員の研修意欲の高揚を図り、資質の向上に繋がる研修を企画・支援する。	職員のニーズに応じた4回の職員研修会を企画・実施して実践的な指導力と資質の向上につなげる センター研修、予備校研修、小論文の指導研修などの校外研修会へ必ず1回は参加するようにする。 指導教員と連携し、若年教員研修の企画・運営を行い、若年教員の指導力向上を目指す。	学校教育活動調査 授業アンケート	
保健	心身の健康の保持増進を図り、健康管理・健康教育を充実する。	健康診断・身体測定の結果をもとに助言を行い、生徒の自己管理能力を育成する。 保健だよりや健康に関する掲示物等を充実させ、適切な情報を発信する。 体育的行事・学年行事の前に校医による健康相談等を実施し、事故防止に努める。	保健室利用カード 学校教育活動調査	
	清掃活動や奉仕活動を通して、生徒の主体的な環境美化に対する意識の高揚を図る。	日々の清掃活動の充実を図り、定期的に点検・評価し、改善に努める。 ゴミ倉庫の定期的な点検や掃除用具の補充など、美化委員会の活動を活性化させる。	学校教育活動調査	
	健康的で、逞しい生きる力を持った生徒を育成する。	日々の健康観察や保健室利用等の連絡を密に行い、生徒の動向の変化を早期に発見する。 学年・教育相談委員会・スクールカウンセラーとの連携を図り生徒支援に努める。 健康教育推進事業等の実施を通して、個々に対するきめ細やかな支援に努める。	保健室利用記録表 SC活用事業報告書 学校教育活動調査	

様式3

第1学年	基礎学力定着のために自立した学習者を育て、5Cの力の涵養を図る。	予習、授業、復習のサイクルを習慣づけ、効率的な学習方法を身に着ける。	授業アンケート スタディサプリ視聴数・学習データ・アンケート 学習時間・習慣調査	
		スタサブ、自習室の活用、学力向上学習会、個別指導により、基礎基本の定着を図る。		
		進路研究や課題研究を通して興味・関心を広げ、積極的に外部のイベントに参加し、キャリア意識を高める。		
	生徒の主体性を伸ばし、主張する伝習生を育成する。	日常生活における生徒との関わりの中で、挨拶の励行、時間の厳守、掃除の徹底を図る。	学校教育活動調査 学校生活アンケート	
		学校行事や学年行事、部活動での役割を通して、人間性の成長を図る。		
		学校外での研修やコンクール等を推奨し、積極的に参加するよう促す。		
希望がもてる場づくりを行い、基本的な生活習慣の確立を図る。	個人面談を密に行い、生活のリズムを整え、高校生活適応の支援をする。	学校教育活動調査 学校生活アンケート		
	学年団・学校全体で情報を共有し、教育相談委員会と連携しながら、心身ともに健康に過ごせるように指導する。			
	日頃から保護者・外部機関との連携を密にし、生徒の生活状況を把握し、指導に反映させる。			
第2学年	5Cの力を育成することを通して、自立した学習者を育てる。	質の高い授業を提供するとともに、予習・授業・復習のサイクルを定着させる。	授業アンケート	
		計画的に課題研究(STEAM教育)を行い、キャリア意識を育成する。		
		スタサブの活用など個別最適な学習環境を整え、学習意欲の向上を図る。		
	規律の遵守と主体性の発揮ができる生徒を育てる。	自尊感情を高めることで規範意識の向上を図り、主体的に規律の遵守ができる心を育てる。	学校教育活動調査 学校生活アンケート	
		学校行事において、中核学年という自覚とリーダーやフォロワーの役割意識をもたせる。		
		外部の研修やコンクールなどに積極的に参加させ、視野を広げ知見を深めさせる。		
生徒の輝く場づくりを積極的に推進し、学校生活に希望をもたせる。	進路学習や個人面談を充実させ、学ぶ意義や将来の目標を明確にさせる。	学校教育活動調査 学校生活アンケート		
	学年全体での支援体制を強化し、部活動を通して人間力を向上させる。			
	学年経営やHR経営を通して、自己有用感を醸成する。			
第3学年	生活を整え、自立的に判断し、行動する意識を醸成する。	自立した生活を整えるため、家庭と連携して生徒の困り感に向き合い、学年団で適切に対応する。	学校教育活動調査 学校生活アンケート	
		日々の声掛けやHRIにおいて、心身ともに健康な規則正しい生活を自らの力で整えていく心構えを持たせる。		
		MTの時間において、社会貢献や自らの在り方を考えさせ、自らで考え、行動できる生徒を育てる。		
	第一志望へのチャレンジをとおして人間的成長を促す。	受験をとおして、自分を支える周囲への感謝の思いをもたせる。	学校教育活動調査 進路実績	
		第一志望を諦めさせない指導をとおして、粘り強く学習に取り組む姿勢を身につけさせる。		
		個別最適な学習環境を整え、新課程入試の情報を共有することで、主体的に行動できる力を育成する。		
伝習館生としての誇りをもたせる。	最上級生の自覚をもたせることで、後輩の模範となるよう指導する。	学校教育活動調査 学校生活アンケート		
	学校行事や部活動において、全力で取り組ませ、大きな達成感を得られるようにする。			
	1年間の教育活動を充実させ、伝習館でよかったという思いをもって卒業できるようにする。			

様式3

学年部	学年間及び各分掌との連携を図り、生徒への教育効果を最大限にする組織土壌をつくる。	定期的に学年部ミーティングを行い、課題把握とスピーディな解決を図る。 必要に応じて拡大経営会議を行い、学年部と各分掌との連携を図る。 3年間を通した生徒の主体性育成のグランドデザインを企画と実践の往還の中で構築する。	「学年部ミーティング」「拡大経営会議」による成果の振り返りと改善点の集約 学校教育活動調査	
	探究活動を中心としたSTEAM教育の企画、実践を行う体制をつくる。	「総合的な探究の時間」を年間計画に改良を加えながら実践する。 アの実現のために学年主任と総探担当者で企画チームを立ち上げ、検討を行う。 STEAM教育の実践研究を行い、生徒・職員の探究マインドの醸成とカリキュラム開発に助力する。	「総探企画チーム」による成果の振り返りと改善点の集約 学校教育活動調査	